

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                |            |
|---------|----------------|------------|
| 事業所番号   | 1270201203     |            |
| 法人名     | 医療法人社団 鳳雄会     |            |
| 事業所名    | グループホーム・ゆうゆう   |            |
| 所在地     | 千葉県花見川区犢橋町12-3 |            |
| 自己評価作成日 | 平成28年3月1日      | 評価結果市町村受理日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                 |  |
|-------|-----------------|--|
| 評価機関名 | 株式会社 日本ビジネスシステム |  |
| 所在地   | 千葉県市川市富浜3-8-8   |  |
| 訪問調査日 | 平成28年3月18日      |  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

|   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭的な環境の下、慣れ親しんだ地域でいつまでも元気で過ごしていただけるよう取り組んでいる。</li> <li>2. 入居者様が自分で出来る事は関わってもらいながら、残存機能を維持していけるよう支援している。</li> <li>3. 食事においては、旬の食材や産地直送米の使用、また器や盛り付けの工夫により、美味しく食事を楽しんでもいただけるよう取り組んでいる。咀嚼・嚥下機能の低下が見られる方には、食事形態の工夫を行っている。</li> <li>4. 浴室は広く、また浴槽から外の景色が見えるようになっており、快適な入浴を楽しんでいただいている。自力歩行が難しい方でも、安心して入浴を楽しんでいただけるよう、リフト浴を設置し支援している。</li> <li>5. 同法人の他施設との合同行事へ参加したり、定期的に民謡や踊り等のボランティアを招いて地域との交流を図っている。</li> <li>6. 千葉県グループホーム連絡会の会員(世話人)として他事業所との交流を図り、研修にも積極的に参加している。</li> </ol> |
|---|

「グループホーム・ゆうゆう」は自然に囲まれた静かな環境の中にある。施設内はバリアフリー環境が整備されており、入居者の安全面に配慮した設計となっている。地域とは密な関係を築いており、地域行事への参加・施設行事への招待等を通じて交流を図っている。また、施設近隣には、同法人・系列法人が運営する老人保健施設・サービス付き高齢者住宅等があり、日頃の行き来や行事での交流が行われており、入居者の生活の活性化に繋がっている。市のグループホーム連絡会では世話人を務めており、会議を通じて同業者や市職員と意見・情報交換を行い、外部と連携してサービスの質の向上を図る体制を構築している。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目: 23,24,25)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目: 9,10,19)   | ○ 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目: 18,38)             | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目: 2,20)                     | ○ 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目: 38)                   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目: 4) | ○ 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目: 36,37)    | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 職員は、生き生きと働いている<br>(参考項目: 11,12)                                      | ○ 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目: 49)                  | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う  | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目: 30,31)         | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                    | ○ 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目: 28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|-------------------|-----|---|---|---|---|
|                   |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |   |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                      | 「基本理念」は、いつも目に付く場所に掲示し、職員会議等で理念の内容を具体化して共有できるようにしている。  | 「個人の尊厳の尊重」「ゆとりをもってやさしくふれあう里づくり」という理念を掲げており、事業所内に掲示している。理念は施設名の「ゆう」を様々な感じに変換し、わかりやすく伝わるよう工夫されている。定期的に研修や会議の中で触れ、職員へ周知を図っている。 |   |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                      | 民謡や踊りのボランティアを定期的に招いたり、日常的な近所の散歩・ドライブを通して、地域とのつながりを持てるようにしている。   | 日頃から地域住民とはあいさつ・声掛けを交わす関係を築いていると共に、地域行事への参加・施設行事への招待を通じて交流を図っている。また、施設の前の道路が養護施設の児童の散歩コースとなっており、声掛け等の交流を行い、世代間交流に繋げている。      |   |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                    | 地域の方を招いての合同行事等で、認知症の人への理解を求め、支援の仕方について説明している。介護保険等の相談は、事例に基づき、意見の交換を行っている。                                  |   |   |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 現状では、運営推進会議を二か月に一回以上開催するのは難しく、年に二回程度の開催にとどまっているが、出席していただいた入居者のご家族や、地域の方々、安心ケアセンターの職員との意見交換を行い、反映できるようにしている。 | 運営推進会議は年2回開催しており、地域包括支援センター職員・民生委員・地域住民・家族等が出席している。会議は施設の活動報告や意見・情報交換を行っており、施設理解の促進及びサービスの質の向上に繋がっている。                      | 地域密着型施設の役割を再確認した上で、運営推進会議の開催回数の増加を行い、地域との情報交換・施設理解促進の機会を確保する事でより関係を強化していただく事を期待します。 |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる            | 千葉市高齢施設課主催の研修への参加。千葉市グループホーム協会を通じて、市町村との連携を図っている。   | 日頃から市に対して、相談や報告を行い、随時連携を図っている。また、市のグループホーム連絡会の世話人を務めており、会議を通じて、市や同業者との意見・情報交換を行っている。  |   |

【千葉県】グループホーム・ゆうゆう

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|---|--|--|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束の研修は積極的に受けるようにしており、その都度職員会議等で研修報告をしてもらい、職員全員が同じ認識のもとで仕事に取り組めるようにしている。玄関の施錠については、夜間帯は職員が1ユニット一人になってしまふ為、19:30以降は施錠している。 | 身体拘束排除及び高齢者虐待防止における内部研修を実施しており、職員へ意義を周知している。また、定期的に会議や連絡ノートで職員へ注意及び指導を行い、適切な支援の実施に向けた周知徹底を図っている。           |                   |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 職員会議等を利用してホーム内研修を行い、虐待が行われないよう、また見過ごされないよう教育するようにしている。   |  |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している   | 外部研修等には積極的に参加し、理解を深めるようにしている。  |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | 契約時における重要事項説明書や、利用契約書の説明は、時間をかけ丁寧に行い、利用者のご家族が十分納得した上で、サービスの提供が開始できるように心がけている。  |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                    | 利用者やご家族が意見を言いやすいように、些細な事でも相談を受けるとし、こちらからも要望等を尋ねるようにしている。また、玄関前に意見箱を設置し、運営推進会議等でもご家族の意見を尋ねるようにしている。                         | 家族の訪問時・電話連絡時・行事参加時等を活用して意見・要望等の確認を行っている。また、挙がった意見・要望においては、会議・申し送り・連絡ノート等を活用して周知・検討の上、適切な改善に努めている。          |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                     | 職員からの意見や提案は、常に聞くようにしており、必要に応じて職員会議等で話し合ったり、個別に対応して、なるべく反映できるよう心がけている。  | 定期的に職員会議を開催しており、職員の意見・提案等を確認している。また、個人面談を実施しており、職員個々の意向を把握している。有給休暇取得の励行・希望休の採用等に努めており、働きやすい職場環境の整備に努めている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている     | 勤務に関する個々の希望は、可能な範囲で取り入れるようにし、働きやすい環境の整備に努めている。昇給等は、職員の実績を具体的に評価した上で行うようにしている。  |  |                   |

【千葉県】グループホーム・ゆうゆう

| 自己                          | 外部 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|----|--|--|------|-------------------|
|                             |    |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13                          |    | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 個々のスキルアップを図る為に、研修等はなるべく多くの職員に受けてもらい、職場においても、個別の状況に応じて、技術的な事や、考え方についての指導を行っている。                       |      |                   |
| 14                          |    | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 千葉市グループホーム協会に加入しており、協会が主催する研修や、地域交流会に参加する事で、他事業所との交流を行っている。  |      |                   |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |    |  |  |      |                   |
| 15                          |    | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 本人が困っている事や、要望等を細かく確認した上でケアプランに反映し、サービス提供後も本人の変化を注意深く見守りながら、安心して生活いただけるよう努めている。                       |      |                   |
| 16                          |    | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 入居相談や面接時に、ご家族として困っている事や入居に際しての要望等を十分聞き取り、ケアプラン作成時にも確認するようにしている。サービス導入後も、本人の変化や状況を報告している。             |      |                   |
| 17                          |    | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 本人やご家族が何に一番困っていて、何を望んでいるのかを把握し、優先的にサービスへ反映するよう努めている。他のサービスについても、随時対応できるようにしている。                      |      |                   |
| 18                          |    | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 利用者の生活習慣や能力に応じて、個々に合った役割を提供し、職員と一緒にいる事で、関係を築いている。  |      |                   |
| 19                          |    | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 本人との外出や、定期的な面会に協力していただいている。また、季節ごとに家族会主催での催事を企画し、参加していただく事で、本人とご家族だけでなく、ご家族同士、ご家族と職員との関係も築けるよう努めている。 |      |                   |

【千葉県】グループホーム・ゆうゆう

| 自己                                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|------------------------------------|-----|---|---|--|---|
|                                    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                                   |
| 20                                 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                    | ご家族との面会、外出(外泊)等は積極的に行っている。ご家族了解の下、本人の知人や友人と外出する事もある。ご家族などへの電話の取り次ぎは、いつでもできるよう対応している。                                  | 希望に応じて、友人・知人・親戚等の来訪を随時受け付けていると共に、家族との外出・外泊も自由となっている。手紙や電話のやり取りも自由となっており、馴染みの関係継続に配慮している。また、少人数・個別の外出を実施しており、馴染みの場での楽しみを支援している。 |   |
| 21                                 |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 散歩や外出時に、車椅子利用者の車椅子と一緒に押してもらったりして、お互いが助け合える環境作りを行っている。また、気の合う者同士だけでなく、レクリエーション等を通して、色々な人と交流を図れるよう努めている。                |  |   |
| 22                                 |     | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了後も、ご家族から手紙や連絡をいただき、本人のその後の経過や現状を知る事がある。また、ご親戚や友人の入居相談も受けている。  |  |   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |     |   |   |  |   |
| 23                                 | (9) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | 自分で意思表示が可能な方に対しては、直接暮らし方の意向や希望を聞き出し、なるべくその意向に沿った支援が行えるようにしている。意思表示が困難な方に対しては、その方の生活歴や性格、ご家族から得た情報を元に、関わりが持てるように努めている。 | 契約時に本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認していると共に、医療機関や他事業所からの引継ぎを行い、より詳細な情報の把握に努めている。会議・申し送り・連絡ノートを活用し、職員間でより新しい情報が共有できるよう工夫している。             | 日々の記録においては、必ず、ボールペンを使用する等、適切な記録を職員間で徹底していただく事を望みます。 |
| 24                                 |     | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | 本人やご家族から分かる限り情報を収集し、以前利用していたサービス等がある場合は、情報提供書をいただけるよう協力依頼している。  |  |   |
| 25                                 |     | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | 日々の生活や心身の状態を、生活(介護)記録各チェック表に残し、朝・夕の申し送りや、連絡ノートを利用する事で、皆が情報を共有できるようにしている。  |  |   |

【千葉県】グループホーム・ゆうゆう

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアマネージャー、計画作成担当者が中心となり、本人・家族・医療機関などの必要な関係者、介護職員からの意見を元に介護計画を作成している。  | 家族もしくは本人も交えた話し合いを行い、意向を把握した上で介護計画の作成を行っている。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を行っており、定期または必要時に介護計画の見直しを行っている。  |                   |
| 27 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 生活(介護)記録、排泄チェック表、食事・水分摂取表、バイタルチェック表、連絡ノートなどを活用し、日々の様子やケアの実践・結果等を職員間で共有している。それを元に次のアセスメントに繋げるようにしている。                           |   |                   |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 通常のサービス以外にも、個々の状況・状態に合わせたサービス提供を心がけている。また、同法人の他施設との協力体制も整っており、柔軟な対応ができるようにしている。  |   |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 近所の散歩や買い物、同法人の他施設にある喫茶店の利用、ボランティアを招いての歌・民謡・踊り、二か月に一度の散歩等を行っている。また、ご家族の意向を元に、訪問リハビリ等も利用している。                                    |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | 当グループホームの協力病院を受診するか、入居前からのかかりつけ医を受診するかは、本人(ご家族)が自由に選択できるようにしている。また緊急時や必要時には、ご家族了解の下、協力病院や専門医の受診もできる体制を整えている。協力病院の往診は、月二回行っている。 | 希望の掛かりつけ医への受診及び内科医・歯科医の往診を実施し、適切な医療受診を支援している。また、必要に応じて、医師・薬剤師による居宅療養管理指導を受けており、適切な健康管理・服薬管理を行っている。医療関係の記録を連絡ノートに記載しており、医療機関と介護職員が適切な連携を図れるよう工夫している。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している             | 当グループホームには看護師を配置していない為、協力病院の医師・看護師との連携を密にしている。同法人他施設(老健)の医師・看護師にも相談している。   |   |                   |

【千葉県】グループホーム・ゆうゆう

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |   |
|----|------|---|--|---|---|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入居者が入院された場合は、病院と密に連絡を取ったり、直接病院へ行き、状況を確認するようにしている。また協力病院に、緊急時には、休診日・時間帯を問わず、なるべく受け入れをしてもらえるようお願いしている。         |   |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化した場合は、本人やご家族に、当グループホームでできる事を十分に説明し、医療機関とも連携しながら対応している。終末期ケアについても同様の対応を行っているが、現状ではスキルや経験が不足しており、今後の課題でもある。 | 契約時に重度化・終末期における施設方針を説明しており、同意を得ている。必要時には、医師・家族等と相談しながら意向に沿った終末期を支援できるよう協力体制を整えている。また、急変時や重度化した場合には、リビング横の静養室を活用し、適切な見守りが行える環境が整備されている。                            |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時対応マニュアルを作成し、常に目に付く所へ掲示してある。また職員会議等で定期的に研修を行うようにしている。  |   |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 災害時対応マニュアルを作成し、常に目に付く所へ掲示してあり、ホーム内で定期的に防災訓練を行っている。火災通報装置やスプリンクラーを設置しており、消防署への連絡もすぐにとれるようになっている。              | スプリンクラー・火災報知器・自動通報器等の消防設備を設置していると共に、定期的に消防避難訓練及び設備点検を実施している。訓練では夜間想定訓練・消火器訓練・非常階段使用の訓練等を行い、状況に応じた避難方法の確認を行っている。また、会議の際に、災害時の対応についての勉強会を行っており、役割分担・避難方法等の検討を行っている。 | 消防避難訓練における計画及び実施を適切に行い、災害時・緊急時における対応方法の確認を継続的に行っていただく事を期待します。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |   |
|----------------------------------|------|--|--|--|---|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |  |   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 常に尊敬の念を忘れずに、本人の生活歴や性格等を踏まえた対応を心がけている。職員会議等でも、利用者への接し方や言葉遣いについて指導している。  | プライバシー保護・接遇・法令順守等を含めた研修を実施しており、職員に対する意義の理解促進に努めている。「個人の尊厳の尊重」を理念に掲げており、会議にて理念の確認を行い、職員への周知を行っている。                    | 施設設計上、トイレや浴室が第三者の目に触れにくい構造となっているが、カーテンの開閉等、細部にまで注意を払い、プライバシー保護に関する配慮を徹底していただく事を推奨します。 |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 可能な限り本人が自己選択、自己決定できるよう働きかけている。意思表示が難しい人には、その方の気持ちになって接するよう心がけている。  |  |   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的には日課に沿った生活を送っていただいているが、その時の本人の体調や気分などを考慮し、その方のペースに合わせて過ごしていただけるよう、臨機応変に対応している。                                      |  |   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | ご家族にも衣類の購入等の協力をさせていただきながら、いつも同じ服装にならないように気を付けている。起床時の整容も必ず行うようにしている。   |  |   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 入居時には必ず本人の好き嫌いや食べられない物を確認し、食べられない物が献立の中にある場合は、別の物を提供している。食事の準備は一緒に行っていないが、先休憩の職員と一緒に食事を行ったり、皿洗い・食器拭き等の片付けを手伝っていただいている。 | 入居者の能力や希望に応じて、食事の準備から片付けまでを共同で行っている。献立作成と食材の買い出しは入居者の希望を確認しながら職員が行っている。また、定期的に外食行事の実施・特別食の提供等を行っており、食に対する楽しみを提供している。 |   |



【千葉県】グループホーム・ゆうゆう

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 個々の食事摂取量、水分摂取量を毎日記録しており、咀嚼・嚥下機能が低下している方には、食事形態を工夫したり、水分量が不足しがちな方には、好みの飲み物やゼリー等を提供しながら、栄養バランス・水分量が確保できるよう支援している。  |  |                   |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 毎日朝、夕に口腔ケアを行っている。義歯を使用している方は、夕食後に義歯をお預かりし、入れ歯洗浄剤で洗浄・消毒している。訪問歯科と連携し、口腔内の清潔保持に努めている。  |  |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 排泄チェック表を活用しながら、個々の排泄パターンを把握できるよう努力している。オムツ等の使用に関しては、個々の状態を考慮しながら使用している。  | 排泄記録を活用しながら個々の排泄パターンを把握しており、声掛けやトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っている。また、水分量の確保・体操の実施を行い、腸動運動を促すと共に、医師に相談しながら適切な排便コントロールを行っている。   |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 個々の水分摂取量を確認しながら、適度な水分量が確保できるようにし、本人の状態に合わせて、可能な範囲で体を動かしていただくようにしている。朝食時には、牛乳やヨーグルトなどの乳製品を提供している。便が出づらい方には、腹部マッサージをしたり、医師に相談し、下剤を使用しながら排便のコントロールを行っている。 |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | ユニットごとに曜日別で入浴を行っているが、本人のその時の状態に合わせて、曜日・時間に関わらず入浴できるようにしている。  | 入居者の希望や体調に応じて、柔軟に対応しながら適切な入浴機会を確保していると共に、シャワー浴・清拭・部分浴を実施しながら入居者の清潔保持に努めている。浴室にはリフトが設置されており、入居者の身体状況に合わせた入浴支援が可能となっている。 |                   |

【千葉県】グループホーム・ゆうゆう

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|---|---|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 一人一人個室対応となっており、日中でも居室で昼寝したり、テレビを観たりと、自由に過ごせる環境となっている。夕食後もリビングでテレビを観たり、歓談しながら過ごす方がおり、あまり遅くならない範囲で自由に生活していただいている。 |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 各ユニットに薬担当者を配置して薬の管理を行っており、個人別に現在使用している薬の説明書をファイル化し活用している。また、往診時や外来受診時に処方された薬は、受診記録や連絡ノートへ記載し、全員が分かるようにしている。     |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 個々の能力や残存機能に合わせた役割を持っていただけるよう支援している。たばこを吸う方には、職員が付き添って吸っていただいている。またゲームなどのレクには、職員も一緒に入って、皆で楽しめるようにしている。           |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 毎日という訳にはいかないが、天気の良い日や、暖かい日には、その人の体調を診ながら近隣への散歩や、ドライブに出かけるようにしている。また、ご家族の協力の下、外出・外泊される方もいる。                      | 日頃から散歩・買物・ドライブ等を実施し、戸外に出る機会を設けていると共に、定期的に外出行事を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。また、希望に応じて、近隣にある法人施設の喫茶室へ外出する等、社会資源を活用した戸外活動も支援している。 |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                             | 自己管理ができる方はいない為、基本的には現金がある場合にはお預かりし、必要に応じてお出しするようにしている。また、お金を使用する場合は、ご家族や職員同伴の下で使用するようにお願いしている。                  |  |                   |

【千葉県】グループホーム・ゆうゆう

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ホームの事務所にある電話を利用し、いつでも取り次げるようにしている。ご家族が不在の時間帯などには、その旨を本人に説明し、後でかけ直す事を伝えている。手紙も必ず本人にお渡しするようにしている。   |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | それぞれの共用スペースは、ゆったりとした空間を確保しており、廊下の壁には、季節感を取り入れた展示物を飾っている(利用者が作成した物等)。トイレの場所も分かりやすいように案内している。浴室・浴槽は広めで、外の景色も楽しめるようになっており、快適な入浴を楽しんでいただいている。 | 施設内はバリアフリー環境が整備されており、安全面に配慮した設計となっている。共有スペースには椅子やソファを設置しており、自由にくつろげるよう配慮している。両ユニットの間にウッドデッキを設置しており、プランター栽培等を行いながら季節感や戸外の空気を楽しめるよう工夫している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 廊下・リビングには、それぞれ自由に過ごす事ができるよう長椅子・ソファを置いている。また、ウッドデッキにも座ったり、日光浴を行えるように椅子を設置し、各ユニットから自由に入りができるようになっている。                                       |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居時に馴染みの物を可能な限り入れてもらい、またなるべく分かりやすい配置を心がけ、環境の変化を最小限にできるよう配慮している。仏壇を持ってこられる方もいる。  | 入居者・家族の希望の物を自由に持ち込むことが可能となっており、居心地よく生活できるよう配慮している。また、テレビ・ポータブルトイレの設置や布団を敷く事が可能となっており、生活歴に合わせた居室作りを行っている。                                 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 建物内は全てバリアフリーになっている。居室のドアは引き戸になっており、廊下の幅も車椅子での移動がゆとりを持ってできる設計となっている。廊下やトイレ、浴室、玄関前のスロープには手摺りを設置し、安全に歩行ができるようにしている。                          |  |                   |